

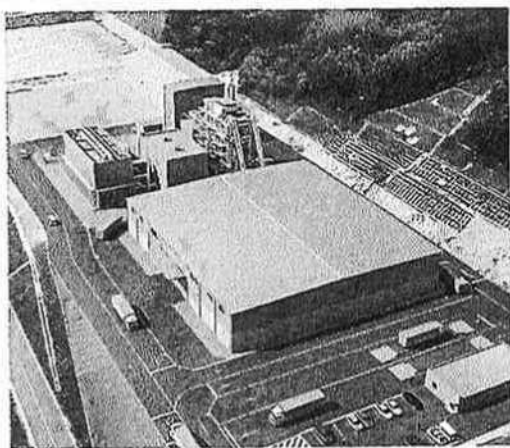


道

中

フクイチ 周辺の今

元日大教授 糸長 浩司



放射能で汚染されたパーク(樹皮)材
や間伐材等を燃料に発電する飯館バ
イオパートナーズ＝飯館村HPより

放射性物質が付着の
樹皮など燃料に発電

福島第一原発事故被災地飯館村では最近、もうひとつ厳しい事態が起きている。

火災は点検作業中に放射性物質が付着した樹皮や木材チップを燃料とした発電所が、

大を迫めロシアのウクライナ侵攻を招いた責任が大きい米国は、対中包囲に集中するためウクライナの梯子を外し、欧州に軍事費のGNP比5%を求めている。

「死の商人」復活

米国の武器生産を域内で強化しロシアを敵として再軍備を推進するものだ。

各国の軍事費を平均GDP比1・5%ずつ4年にわたって増やし、一時軍事費

EUではウクライナ戦争を好機として「死の商人」が復活していた。トランプの要求はそれを加え、欧州の軍事企業の株価はトランプが

不可欠で、財政規律が厳格だったドイツが先行した。

先の総選挙で与党社民党が大敗し左右両極が伸長した後、連立与党となるCD

ただで三分の一超) 資家向けの防衛ファ
になる前に採決する
挙に出た。3月18日
に513対207で
憲法改定が可決され
たが、この票は民意
を反映していない。

左翼戦線もルペン派
も労働組合も福祉切
り捨てになる「再軍
備」には反対だ。
イタリヤの首相も

り暮らし優先の声は左翼と親露の極右が吸収し伸長した。日本も「抑止力強化を」などという宣伝にだまされず、欧州の良識に倣うべきだ。

世界
集や発
学校を
育、様
ークシ
国際機
活動安

膨大な復興予算を使つて東京電力を核とした株式会社（飯館パイオパートナースIIIBP）によつて建設され、2024年9月12日に稼働した。

作業中の火災で消火されたものの復旧には3カ月を要し、25年3月14日に再稼働した。

書を3月21日に提出した。質問内容のポイントは左記である。

1. 火災発生と運転停止の広報
2. 火災の状況（火災によりボイラー外で

をした消防隊員の被ばく状況)

5. 火災発生原因
(インバータ交換時は、ボイラー稼働を停止して実施すべきだが、今回そうしなかつ

解しているのでも、再稼働をしているという。そうであれば、私たちの専門的な内容も含む質問に即答できるはずである。技術的問題も含めて即答できない状況

ずさんなバイオ発電所が火災

放射能災害広げる

それから3カ月後の
12月16日に発電所のボ
イラー部門で火災があ
った。電気系統の点検

青木一政、「放射能ごみ焼却を考えるふくしま連絡会」の和田央子（なか）の3名でIBPに質問

燃えた燃料チップの放射
 性セシウムの濃度と
 量及び燃焼後の灰の放
 射性セシウム濃度と

一般的な「スキル向上」では改善は難しいと考
えられる）

森林の火災への拡大を心配せざるを得ない。放射能災害を拡大するような施設がこのよう

―BP発電施設の設備概要 出力は7500瓩、売電量は年間5200万瓩、利用燃料は福島県産のバーク（樹皮）材・間伐材等

地元間伐材等で年間9万5000ト。施設は燃料の受入、搬入される原木の破碎、在庫管理、焼却灰の保管・管理放射線管理を行う。

3. 「採取した空気
・水の分析」の検出
限値

4. 火災検知後の対
応について（消火活動

月必要」という返事である。信じられない回答である。

いる。その稼働は、国民の血税による復興事業で展開されている」と自体も大きな矛盾である。
